

ナンバーリング	B⑥01	科目名	専門総合演習 「からだを学ぶ」	担当教員	田中葵
ディプロマポリシーとの関連性	②・④	担当形態	単独		
テキスト	適宜資料を配布する。	単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	前期

講義概要

■到達目標

- 自身の身体について理解し、説明することができる。
- 生き生きとした身体の動きにつながるあそびの展開について自分なりに考え、グループ内で討議できる。
- 話し合いと実践を通して、からだに関する自分の関心や課題を発見する。

■授業の概要

私たち人間の活動は、すべて身体を通して行われています。本授業では、日常生活の身体を観察したり見つめなおしたりしながら、生きていく上で獲得すべき動きや生活がスムーズに送れる動きの巧みさ、賢いからだとは何かを実践しながら話し合い考えます。

これらの話し合いや実践を通して、一人ひとりが自分の関心や課題を見つけていくことを目指します。

■授業計画

- 第1回 オリエンテーション：私たちと身体の歴史
- 第2回 姿勢と呼吸を見つめてみよう
- 第3回 身体の感覚を研ぎ澄ましてみよう（1）見る、聞く、触る、感じる
- 第4回 身体をつくる要素を考えよう（1）食べる、寝る、動く
- 第5回 身体に対する調査
- 第6回 人と関わる時の身体に着目してみよう
- 第7回 実習に向けた課題の確認
- 第8回 筋肉の緊張と弛緩を味わおう
- 第9回 日常生活における身体の感覚を研ぎ澄ましてみよう（2）課題の探索
- 第10回 身体をつくる要素を考えよう（2）課題の探索
- 第11回 各自の調査実践発表
- 第12回 フィールドワークに向けた事前学習
- 第13回 フィールドワーク（1）身体のプロフェッショナルを観る
- 第14回 フィールドワークのふりかえり、各々の課題に向けた話し合い
- 第15回 フィールドワーク（2）身体のプロフェッショナルを観る

■準備学習

- フィールドワークや表現活動毎にレポートを提出すること。
- 自身の課題に向けた調査や実践をすること。

■評価方法

- 授業内及びフィールドワークのレポート — 20%
- 授業での取り組み（話し合いや作品創作時の積極的な参加と発言） — 60%
- 学園祭に向けた準備への積極的な取り組み姿勢 — 20%

参考文献	竹内敏晴「子どものからだとことば」晶文社、1989. 近藤充夫「幼児のこころと運動」教育出版、2003. 等、隨時紹介する。	特記事項	学外学習に伴う交通費及び参加費用は自己負担となる。 【課題等へのフィードバック方法】 提出されたレポートはコメントをする。また、グループでも共有する。
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修	幼保	
実務経験のある教員等による授業内容			